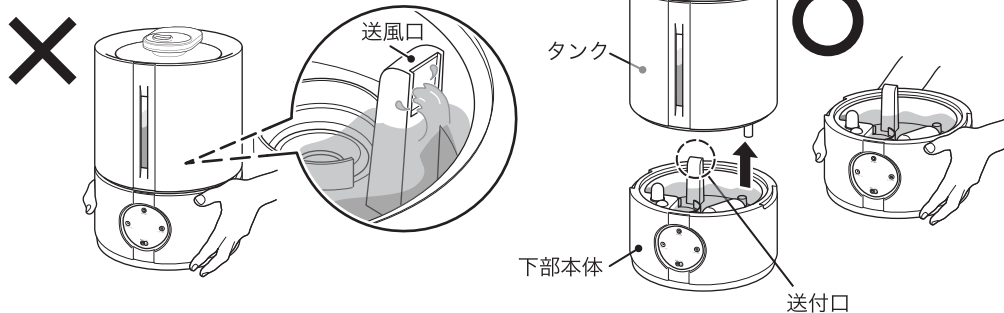


お手入れのしかた

プロミスト
PK-701S

●本体を移動させる際のご注意 液剤の入ったタンクが下部本体にセットされた状態で、 本製品を持ち運ぶなどの移動はしないでください。

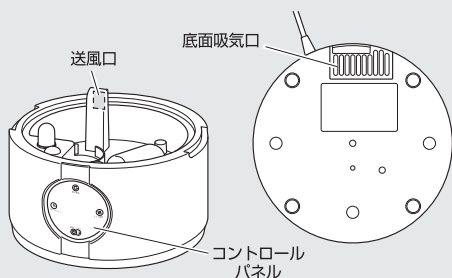
揺れによって、プール内の液剤（水）が送風口から本体内部へ入り込み送風ファンや電気基板の故障の原因になります。本製品を移動する際は、必ず下部本体からタンクを取り外して、プール内の液剤（水）をこぼさないように注意して行ってください。



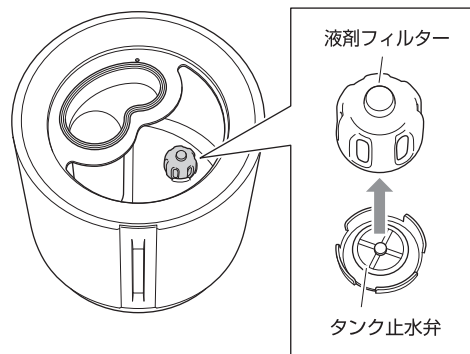
注意

●本体やプール内の汚れのお手入れの際は、磨き粉、洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。（故障・変形・変色の原因となります）

●コントロールパネル周辺を濡らさないようご注意ください。



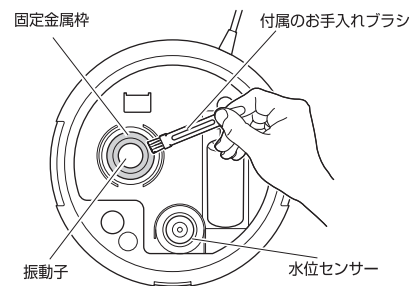
●タンクのお手入れ



- 1.タンク内部の液剤フィルターを引き上げてください。
- 2.液剤フィルターにゴミなどが付着している場合、流水で洗い流してください。
- 3.タンク止水弁に異物が付いていないか確認して、液剤フィルターを元のとおりに取り付けてください。
- 4.汚れなどがある場合はきれいな布等でふき取ります。
- 5.タンク止水弁が破損している場合は交換してください。（交換部品は別売にてお求めいただけます。）

噴霧器のご使用中、プール内および超音波振動子周辺に、次亜塩素酸水や希釈水道水に含まれるミネラル成分による付着物（スケール）が発生することがあります。月に1回程度のお手入れをお勧めします。

●振動子周辺と水位センサーのお手入れ



- 1.タンク部・吹き出し部を取り外します。
- 2.プール内に液剤が入っている状態で、付属のお手入れブラシを使用し、振動子・固定金属枠と水位センサーを丁寧にブラッシングします。
- 3.ブラッシング後、プール内の液剤を捨てます。
- 4.最後に綺麗な水でよくすすぎます。
- 5.水位センサーのリング状のフロート（浮き）がスムーズに動くか確認してください。

注意

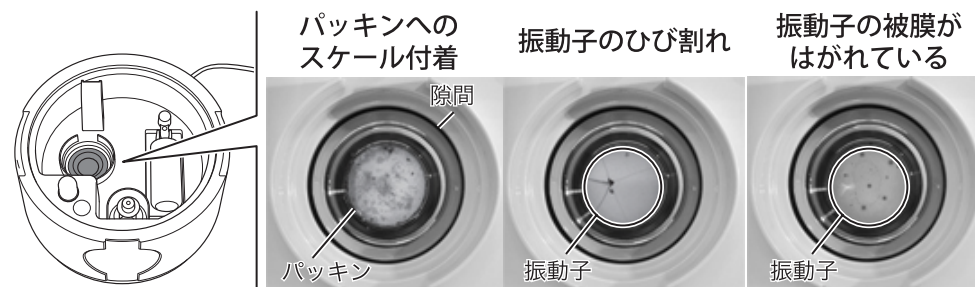
※付着物の除去には付属の専用ブラシを使用し、ヤスリ、金属ブラシなどの固いものは使用しないでください。（振動子や固定金属枠の損傷の原因となります。）

※スケールの付着が振動子の正常な振動を妨げ、霧（ミスト）発生量の減少が早まったり、部品の劣化が早まったりしますので、こまめなお手入れをお勧めします。

振動子は消耗部品です。

スケールの付着により、振動子の消耗や劣化が早まる場合があります。振動子が下記の状態の場合は振動子ユニットの交換時期です。交換せずに使用を続けると、この箇所から液剤が本体内部に流れ込み、底面から漏れる恐れがあります。

※ 振動子ユニットの交換（有償）は販売店にご依頼ください。



【参照】取扱説明書「消耗部品の交換について」（20ページ）

※ 消耗の早さは、出力や運転時間、液剤や希釈水の性質、お手入れの仕方など、ご使用環境によって異なります。